

◎ 展開する事業群(2-2-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	①	子どもの権利に関する啓発

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
人権意識の高揚	○人権問題研修会の開催	人権啓発推進	H17～21	1. 8月28日(月)午後 子どもの人権問題研修 [子どもの視点に立って～安全・安心を～]講演 [子どもの声に耳をすませて]ビデオ上映 196名参加	1. 8月25日(木)午前 同和問題研修 [差別事件の現状と課題] 講演 192名参加
				2. 8月29日(火)午後 外国人等の人権問題研修 [共に生きる社会を目指して]講演 210名参加	2. 8月25日(木)午後 女性、子どもの問題研修 [女性の問題、家庭の中の(子どもの人権)] 講演 203名参加
				3. 8月30日(水)午後 高齢者の人権問題研修 [私たちと身近な高齢者の人権]講演 [ボケなんてこわくない]ビデオ上映 185名参加	3. 8月30日(火) 心に障害のある人の問題研修 [精神疾患をもつ人の人権] 講演 205名参加
	○わくわくワークショップの開催	人権啓発推進	H17～21	1. 10月26日(木) 内容(字が書けるって当たり前のこと?) 22名参加	1. 10月16日(日) 内容 (障害をもつ人の人権) 12名参加
				2. 10月31日(火) 内容(大阪人権博物館見学) 20名参加	2. 10月25日(火) 内容 (亀岡市盲導犬総合訓練センター見学) 14名参加
					3. 11月13日(日) 内容 (子ども・高齢者の人権) 11名参加
					4. 11月27日(日) 内容 (性的人権) 10名参加
					5. 1月20日(金) 内容 (人権教育・啓発推進計画策定に向けて) 22名参加
	○広報紙、啓発冊子等による啓発	人権啓発推進	H17～21	作成なし	人権啓発冊子 [じんけん～人権に気づいて考えようー改訂版] 1, 300部作成

	○ヒューマン映画上映会の開催	人権啓発推進	H17～21	2月3日(土) 題名(パッチギ)上映 74名参加	2月4日 題名(1リットルの涙)上映 240名参加
子どもの権利、児童福祉の理念の周知	○「児童福祉週間」イベントの実施	こども福祉	H17～21	1. 12月9日(土)～10日(日) 幼児・児童の作品展示 243名参観 平成18年4月28日～5月20日まで 実施(こいのぼりづくりと人形劇鑑賞 親子30組・ 野外活動センター 無料開放 260名・ 田辺公園プール無料開放 228名・ 子育て講演 会 20人・子どもの主張大会 発表者 13名 作文応募者1,158名	平成17年4月26日～5月8日まで実施(こいのぼり掲揚と人形劇 鑑賞 100名・ 野外活動センター無料開放 341名・ 田辺公 園プール無料開放 268名・ 子どもの主張大会 発表者 13名 作文応募者 1,026名
	○価値観の違いを認める意識の醸成 ・障害のある児童との保育の実施 ・縦割り保育の実施 ・地域イントラネット事業	こども福祉 他	H17～21	2. 12月10日(日) 新井宗平・山本かずみのPureHeartコンサート[輝く 命のために] 158名参加 テレビ会議7回 ①6月28日 4保育所とイン トラネットを通じ、図書館司書による読み聞かせを行った。②6月30日 8 幼稚園とイントラネットを通じ、田辺幼稚園から発信し、キッズエアロビクス を行った。③7月10日 8幼稚園とイントラネットを通じ、図書館司書による 読み聞かせを行った。④8月11日 4保育所とイントラネットを通じ、人形 劇を行った。⑤11月16日 8幼稚園とイントラネットを通じ、4歳児を対象 に、映像での歌やゲーム遊びを通して交流を図る「全国幼稚園ウィークin 京田辺」を行った。⑥12月29日 4保育所及び8幼稚園に、仕事納めの 市長あいさつを発信。⑦1月5日 4保育所及び8幼稚園に、仕事始めの 市長あいさつを発信。	地域イントラネット事業、テレビ会議 6回 ①7月1日 4保育所と イントラネットを通じ、各保育所代表の保育士による催しを行った。 ②10月18日 4保育所とイントラネットを通じ、草内保育所による発 表を行った。③11月17日 8幼稚園の4歳児がイントラネットを通 じ、幼稚園大会を行った。参加者数 318人 ④ 12月9日 4保 育所とイントラネットを通じ、三山木保育所による発表を行った。⑤1 2月29日・1月5日 4保育所及び8幼稚園に、年末年始の挨拶等 を発信した。⑥ 1月31日 4保育所とイントラネットを通じ、草内 保育所による発表を行った。 ・障害のある児童との混 合保育を実施している。 ・現在完全ではないが、一部で縦割り保 育を行っており、今後もその方向で行っていく。
人権教育の充実	○研修会の開催	学校教育 社会教育	H17～21	・保、幼、小、中学校教職員人権教育研修会 8月23日 参加者220名 ・社会教育団体等人権教育指導者研修会 7月16日 社会教育指導者51 名参加 ・(人権教育)市民公開講座 8月4日 85名 ・PTA等人権教育研修会 本年度はPTA等の都合で未実施 ・人権を考える集い「講演会」12月10日参加者158名 ・人権を考える集い「子どもの」作文等展示 展示作品119点、参観者24 3名 ・「子どもの人権に関する映画等鑑賞」3月17日 参加者58名 以上7回、943人参加 各校の推進計画により実施した。	7回開催 参加者数 641人 ・各校の推進計画により実施した。

◎ 展開する事業群(2-2-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	②	ひとり親家庭の自立支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
民生児童委員によるひとり親家庭の自立支援	○京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成 (区域担当委員117名、主任児童委員8名への活動費の助成) (再掲2-(1)-②)	社会福祉	H17～21	(再掲2-(1)-②)	(再掲2-(1)-②)
母子家庭医療費助成	○18歳未満の子どもとその子を扶養する母親の医療費を助成	国保医療課	H17～21	18年度給付実績 10,192件	17年度給付実績 9,951件
母子家庭の日常生活支援	○母子支援員による相談支援	こども福祉	H17～21	未設置	未設置
	○母子家庭等日常生活支援事業 (府制度:周知)	こども福祉	H17～21	(府制度:周知)	(府制度:周知)
	○母子世帯府営住宅優先入居 (府制度:周知)	こども福祉	H17～21	(府制度:周知)	(府制度:周知)
各種手当の支給による支援	○児童扶養手当	こども福祉	H17～21	受給者数 369名 支払額 169,782千円	受給者数 362名 支払額 167,943千円
	○市特別児童福祉手当	こども福祉	H17～21	受給者数 430人、児童数 626人、支給総額 12,188,400円	受給者数 406人、児童数 593人、支給総額 11,476,200円
	○母子家庭奨学金 (府制度:広報、申請書配布、進達事務)	こども福祉	H17～21	申請者数 404人	申請者数 399人
	○交通遺児奨学金 (府制度:広報、申請書配布)	こども福祉	H17～21	申請者数 2名(児童数 3名)	申請者数 3名(児童数 4名)
母子父子家庭の交流促進	○父子・母子家庭新入学児童を祝い励ます会の開催	こども福祉	H17～21	参加者数 6名 37人にランリュック贈呈した。	参加者数 7名 30人にランリュック贈呈した。
	○京田辺母子会活動の促進 ・活動支援 ・母子家庭交流事業(レクリエーション)	こども福祉	H17～21	会員数 300人 補助金の支給 76,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生児童委員協議会との連携で支援を行った。	会員数 300人 補助金の支給 80,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生児童委員協議会との連携で支援を行った。
女性相談	○女性の相談室の開催 (再掲1-(3)-③)	市民参画	H17～21	(再掲1-(3)-③)	(再掲1-(3)-③)

◎ 展開する事業群(2-2-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	③	障害児施策等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
京田辺市障害者基本計画の推進	○障害児居宅介護 (障害のある児童の在宅生活を支援するため、身体介護・家事援助・移動介護に対する支援費を支給)	社会福祉	H17～21	自立支援法により、障害児の在宅生活を支援するため、介護給付の支給、地域生活支援事業による支援を行う。・居宅介護 2人、88時間 ・行動援護 5人、372.5時間 ・移動支援 (4～9月)29人、2,196時間 (10～3月)32人、3,413時間 ・地域生活支援事業 (日中一時支援) (10～3月)23人、1,900時間 ・地域活動支援センター事業(10～3月)0人	障害のある児童の在宅生活を支援するため、身体介護・家事援助・移動介護に対する支援費を支給した。・身体介護 3人 678.5時間 ・家事援助 0人 ・移動介護 22人 3,830.0時間
	○障害児短期入所 (障害のある児童及びその家族の生活を援護し、福祉の向上を図ることを目的として、支援費を支給)	社会福祉	H17～21	障害児及びその家族の生活を援護した。自立支援法により、10月からは、短期間、施設で介護等を行う宿泊のみ。(日中は、地域生活支援事業で対応) (4～9月)19人、(10～3月)4人に支給。	障害のある児童及びその家族の生活を援護し、福祉の向上を図ることを目的として支援費を支給した。21人に支給。
	○児童補装具給付事業 (補装具の給付)	社会福祉	H17～21	補装具の給付事業として、交付 56件(4～9月)、修理 13件(4～9月)の給付を行った。10月から、自立支援法が施行され、購入 13件(10～3月)、修理 3件(10～3月)の給付を行った。	補装具の給付事業として、交付 116件 修理 68件 給付を行った。
	○児童日常生活用具給付事業	社会福祉	H17～21	日常生活用具の給付事業として、5件(4～9月)の給付を行った。10月から、自立支援法が施行され、17件(10～3月)の給付を行った。	日常生活用具の給付事業として、10件の給付を行った。
	○養護学校の進路相談	社会福祉	H17～21	各関係機関との連絡調整を行い、養護学校卒業見込み者の就労支援を行った。9人に支援。	各関係機関との連絡調整を行い、養護学校卒業見込み者の就労支援を行った。7人に支援。
○障害児保育の実施 (保育所での保育に欠ける障害のある児童の受入れ)	こども福祉	H17～21	4園 20人	4園 17人	
○親子教室の実施 (田辺児童館)	こども福祉	H17～21	延べ参加者数(保護者を含む) 1,014人	延べ参加者数(保護者を含む) 1,102人	
○療育教室の実施(心身障害児通園事業) (田辺児童館)	こども福祉	H17～21	延べ利用者数(保護者を含む) 2,286人 申請児童数 37人	延べ利用者数(保護者を含む) 2,238人 申請児童数 41人	

障害児保育・教育等の推進	○サマースクール事業への支援	社会福祉	H17～21	学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業に対し人的な支援等を行った。10日実施。参加者630人(うち対象者194人、ボランティア169人など)	学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業に対し人的支援を行った。10日実施。参加者540人(うち対象者164人、ボランティア128人など)
	○就学指導委員会活動の充実	学校教育	H17～21	保・幼・小・中学校と障害児教育諸学校及び関係機関との連携を密にし、障害児の状態、発達段階、特性などを乳幼児段階からの確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。補助金額209千円	保・幼・小・中学校と障害児教育諸学校及び関係機関との連携を密にし、障害児の状態、発達段階、特性などを乳幼児段階からの確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。補助額 220千円
	○特別支援教育の推進	学校教育	H17～21	京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をしている。また、市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をしている。17年度から幼・小・中の連携をしている。補助金額38千円	京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をしている。また、市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をしている。17年度から幼・小・中の連携をしている。
各種手当等の支給による支援	○特別児童扶養手当(国制度)	こども福祉	H17～21	受給者数 79名	受給者数 76名
	○市心身障害児特別手当	こども福祉	H17～21	受給者数 86名 児童数 92名 支給総額 2,448,000円	受給者数 80名 児童数 86名 支給総額 2,088,000円
	○特別障害者手当等給付事業(障害児福祉手当の支給)	社会福祉	H17～21	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。33人に支給。	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。・29人に支給。
	○障害児(者)施設入所保護者負担金の支給(心身に障害のある児童の施設入所に対し、保護者の負担金を一部助成)	社会福祉	H17～21	心身障害児・者の施設入所に対し、保護者の負担金を一部助成することで、負担の軽減を図っている。平成18年9月末で、事業終了。前期のみ9人に助成。	心身障害児・者の施設入所に対し、保護者の負担金を一部助成することで、負担の軽減を図っている。・前期 16人 ・後期 15人に助成を行った。
	○各種援助・補助金による保護者負担の軽減・特殊教育就学奨励費(再掲2-(1)-⑦)	学校教育	H17～21	(再掲2-(1)-⑦)	(再掲2-(1)-⑦)
学校施設のバリアフリー化	○小・中学校への障害のある児童の受け入れに当たり、施設のバリアフリー化を図るため、エレベーターを設置	教育総務	H17～21	田辺中学校エレベーター新設 中学校に在籍する肢体不自由児の動線を確保するために、身障者用エレベーターを設置した。	田辺小のバリアフリー化及びエレベーターの新設・小学校に在籍する肢体不自由児の動線を確保するために、渡り廊下の改修及び屋内スロープを設置するとともに、身障者用のエレベーターを設置した。
発達相談の実施	○各種発達相談の実施(再掲1-(1)-①)	こども福祉	H17～21	(再掲1-(1)-①)	(再掲1-(1)-①)
放課後児童対策の推進	○留守家庭児童会での障害のある児童の受入れ(再掲1-(3)-②)	社会教育	H17～21	(再掲1-(3)-②)申込者全員(8名)受入れ	(再掲1-(3)-②)申込者全員( 5名 )受け入れ

◎ 展開する事業群(2-2-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	④	子どもの虐待防止

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
家庭児童相談室等による養育支援	○家庭児童相談室での相談 ・相談による支援 (再掲2-(1)-②) ・啓発パンフレット等の配布	こども福祉	H17～21	相談件数 638件	相談件数 531件・虐待防止リーフレットの作成、保育所・幼稚園・乳幼児健診等での配布
	○地域子育て支援センターでの子育て相談 (再掲1-(2)-①)	こども福祉	H17～21	(再掲1-(2)-①)	(再掲1-(2)-①)
虐待防止ネットワーク	○虐待防止ネットワーク(★) ・ネットワーク会議設置 ・ハンドブックの作成等 ・関係機関等との連携強化	こども福祉	H17～21	要保護児童対策地域協議会設置 代表者会議・実務者会議開催による関係機関との連携強化	平成18年度中に要保護児童対策地域協議会を設置予定。
各種相談事業	○各種健診・相談・訪問事業 (再掲1-(1)-①)	こども福祉	H17～21	(再掲1-(1)-①)	(再掲1-(1)-①)
意識啓発の推進	○虐待防止に関する広報、啓発 ・広報 ・研修会開催	こども福祉	H17～21	子育て講演会(児童週間行事) 5月20日 中央公民館大ホール 参加者 20名	未実施

◎ 展開する事業群(2-2-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野	⑤	外国人家庭や帰国子女への支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
在住外国人・留学生 が住みやすいまち づくりの推進	○日常生活における情報提供や市民ボランティアの育成 ・京田辺国際交流協会を通じた市民ボランティアの育成や地域の国際化の促進 ・公共施設等での外国語表記の促進	市民参画	H17～21	1. 京田辺国際交流協会にて、市民を対象とした国際交流・国際理解事業を開催。(例:民族音楽コンサート、市英語指導助手や同志社大学留学生との交流会、料理教室など) 2. 一部の公共施設等での外国語表記がされている。	1. 京田辺国際交流協会にて、市民を対象とした国際交流・国際理解事業を開催した。(民族音楽コンサート、英語指導助手との交流会、料理教室など行った。) 2. 一部の公共施設等での外国語表記がされている。
	○外国語母子健康手帳の交付 (英語・中国語・韓国語・タガログ語・スペイン語・タイ語・ポルトガル語・インドネシア語)	子ども福祉	H17～21	発行 なし	発行 英語 1人